

10 周産期医療に関する目標

目標項目	現状値	目標値
①周産期死亡率 (出産千対)	2.5 (R4年)	2.5 (R11年度)
②新生児死亡率 (出生千対)	0.7 (R4年)	0.7以下 (R11年度)

【目標設定の考え方】

【周産期死亡率（出産千対）】

令和4年の本県の周産期死亡率は2.5で、全国の3.3より0.8ポイント低い状況です。平成30年以降、令和3年は全国値を上回りましたが、平成30年～令和2年は全国値より低い水準であり、引き続き総合的な周産期医療対策の推進を図ることから、本県の過去の最低値である令和4年の2.5を目指し目標値を設定します。

【新生児死亡率（出生千対）】

令和4年の本県の新生児死亡率は0.7で、全国の0.8より0.1ポイント低い状況ですが、平成30年以降、全国平均を上回った年もあり、年により増減が生じています。出生数が年々減少し、若干の死亡数の増減により変動幅が大きくなることを考慮して、過去5年間の平均値である0.7以下を目指し目標値を設定します。

11 小児医療・小児救急医療に関する目標

目標項目	現状値	目標値
①乳児死亡率 (出生千対)	2.5 (R4年)	1.8以下 (R11年度)
②小児死亡率 (15歳未満人口10万対)	22.6 (R4年)	19.2以下 (R11年度)

【目標設定の考え方】

【乳児死亡率（出生千対）】

令和4年の本県の乳児死亡率は2.5で、全国の1.8より0.7ポイント高い状況です。平成30年以降、令和3年を除き全国平均を上回って推移している本県の状況を全国並に引き下げることを目指し、国の過去5年間の平均値である1.8以下を目標値に設定します。

【小児死亡率（15歳未満人口10万対）】

令和4年の本県の小児死亡率は22.6で、全国の17.8より4.8ポイント高い状況です。平成30年以降全国平均を上回って推移している本県の状況を全国並に引き下げることを目指し、国の過去5年間の平均値である19.2以下を目標値に設定します。